

## 長崎出島支部 7月例会報告

報告者の竹山さんとは、3年ほど前に出会い

その時から障がい者雇用への思いを伺っていました。今回、その思いを報告という形でお願  
いしました。そして、私自身、初めての座長も務めさせていただきました。

アトリエらぼ開所後は、思うように利用者さんが集まらず、苦勞したそうですが、オリジナ  
リティを活かしたパンフレットを配るなど、地道な活動や、企業からの委託などで売り上げ  
を順調に伸ばしていかれました。

アトリエらぼとは心の通い合う仲間という意味があるそうです。何か迷った時は、必ずこの  
名称の意味に戻るそうです。企業理念に近いものだと感じました。

アトリエらぼの商品は、「支援のためではなく、気に入ったから買いたいと思われる商品つ  
くり」が基本です。実際手に取ると、デザインの良い商品に心を奪われ、雑貨店にもないよ  
うな温かみも感じます。

施設外就労にも力をいれており、雇用ではなく、企業からの委託で作業をしてもらうこと  
で、企業側も障がい者の受け入れをしやすくなるというメリットを活かされています。

雇用ではなく、まずは施設外就労から関わりをもってもらおうと竹山さんは考えています。  
洗車サービスの事業展開など、常に新しい事へ挑戦し続けている姿勢にも、経営者として学  
ぶべきことであると感じました。

社会福祉士という立場から、専門的な知識も持っておられ、私自身の知らなかった支援の部  
分も教えていただきました。

障がいがあるなしに関係なく、一緒にスポーツを楽しんだり、当たり前の生活を送れるよう  
なサポートもされています。

このような地道な活動がやがて大きなものになっていくのだろうと感じます。

障がい者雇用に関する同じ思いの中、このような報告をうけ、私自身も新しいかたちでもつ  
とできる事はないだろうか考えるいい機会になりました。

文責 長崎出島支部 菅原千代枝